

第8回日本歯科骨粗鬆症研究会開催のご案内

時下益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび私共は平成22年4月4日に第8回日本歯科骨粗鬆症研究会を開催する運びとなりました。

本研究会は、歯科領域の疾患と骨粗鬆症を関連づけて考えることを目的とし、平成14年に故森井浩世大阪私立大学名誉教授によって学際的な研究会として設立されました。森井浩世先生がご逝去の後には、藤田拓男神戸大学名誉教授が理事長となられ、現在までに毎年研究会を開催してまいりました。

今年度の研究会は「歯科再生医療と骨粗鬆症」をメインテーマとして開催致します。

高齢化社会にともない歯や歯周組織の優れた再生医療の開発が期待されています。そのため、本研究会では、特別講演として、辻孝先生と村上伸也先生に歯と歯周組織の再生医療の最先端をお話していただきます。

また、高齢化社会にともない骨粗鬆症患者が増加しているために歯科診療においても骨粗鬆症の病態、治療法を十分に理解しておくことが極めて重要となってきました。そのため、藤田拓男理事長には基調講演として「骨粗鬆症の薬剤療法—現在と未来」に関して分かりやすくご講演していただきます。また、教育講演として稲葉雅章先生には「骨代謝マーカー」を、高石佳知には「骨粗鬆症と顎骨骨密度」を概説していただきます。

さらに、本研究会ではシンポジウムとして「骨粗鬆症とインプラント」を企画致しました。骨粗鬆症患者におけるインプラント治療の注意点、問題点などを春日井昇平先生、矢島安朝先生、武田孝之先生にご講演いただきます。さらに、整形外科領域では骨粗鬆症患者に人工関節置換術などが頻りに適応されているので、それらの経験を基に骨粗鬆症患者におけるインプラント（人工関節など）に関する情報を田中伸哉先生に提供していただきます。

本学会の歴史的、社会的な役割を踏まえて、別紙の要領で研究会を開催し、微力ながら歯科医学界、医学界ならびに関連学界の発展に寄与したい所存でございます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

後援：厚生労働省再生医療実用化研究事業

- ・ 実験的再生歯の臨床応用に関する研究
- ・ 歯科再生医療拠点を活用した次世代型歯周組織再生療法の開発

東京医科歯科大学グローバルCOEプログラム

歯と骨の分子疾患科学の国際教育研究拠点

問合せ先：東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔病理学分野

斉藤濃利子（秘書） 電話 03-5803-5454 E-mail: s.noriko.mpa@tmd.ac.jp

第8回日本歯科骨粗鬆症研究会会長
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
口腔病理学分野 教授 山口 朗